一　般　質　問　通　告　書

令和７年１２月８日から開催される第４回七飯町議会定例会において、次のとおり一般質問をする旨、各議員から通告がありましたので、通知いたします。

令和　７　年１２月　８　日

七飯町長　杉　原　　太　　殿

七飯町議会議長　木　下　　敏

目　　次

質　問　者	質　　問　　事　　項	ページ
1．平　松　俊　一	町内の交通安全対策と交通安全施設について	1
	避難施設の防災対策と防災訓練、防災無線管理と災害発生後について	2
2．江　口　勝　幸	災害時における町内の情報周知と住民の避難に関して	4
	町内の保育所や学童保育の現状と児童館について	5
3．上　野　武　彦	福祉灯油について	6

通告順位及び質問者		要旨
1． 平松俊一	1	町内の交通安全対策と交通安全施設について 七飯町内は古くからある狭小な道路が多く、車社会への対応が出来ていない箇所が目立つ。道路を利用する車、自転車、歩行者の安全を確保することは、生活の基本であり、本来であれば道路構造を改良すべきだが簡単には行う事は難しい状況である。 財政を考慮し、生活者ができるだけ安全で安心して道路を利用できるために交通安全施設を見直し、整備することが必要である。 そこで以下の点について伺いたい。 1．町内の交通安全対策の見直しはどのように行われているかについて 2．町内の交通安全施設の見直し、老朽化対策について 3．町内の交通安全施設の見づらさや機能不全を改良・維持管理する事について 4．信号機や道路標識の機能と的確化の確認について 5．冬季間の交通安全施設の管理について

通告順位及び質問者	要旨	
	2	避難施設の防災対策と防災訓練、防災無線管理と災害発生後について 本年８月１９日に発生した大雨による災害については前回の第３回定例会において同僚議員も質問を行い、色々な問題点が浮き彫りとなった。 線状降水帯が北海道においても発生することが新たに確認され、今までの災害対策をさらに見直すことが必要となり、担当部署では確認作業を行い、議会側では関係機関への要望活動を行っている。 また多額の経費をかけて設置した防災無線施設は運営方法にも問題があった可能性もあるが、費用対効果そのものが疑問視される結果を残し、道の駅「ないろ・ななえ」では駐車場に雨水が滞水し、災害時に物資の輸送拠点と想定しているが、この点でも問題が顕になった。 防災計画全体の見直しまでは行かずとも、個々の事象が発生した時点で具体的な対応策を考えておく必要があると考え、以下の点について伺いたい。 １．避難施設の機能について ア；非常用発電機接続工事はどこまで終了しているか イ；停電中に最低限の作動ができる器具の確認はできているか ウ;バリアフリー化、医療的ケアなどの要支援者の受け入れ体制は エ；食糧、寝具の備蓄、洗面所・台所・シャワー設備の状況と今後の目標は オ；ＴＶなどの情報収集機器やＷｉ-Ｆｉの整備は ２．避難施設の運用について ア；災害発生時の職員出動体制と各種災害協定の状況は

通告順位及び質問者	要旨
	イ；災害予防計画に「運営避難所の運営に関し、被災者自らが行動」とあるがどのような内容か ウ；自主防災組織の現況と今後の推進目標は エ；避難生活を想定した「炊き出し」についての計画は オ；避難施設の除雪体制と内容の確認 3．防災訓練と防災対策について ア；実施されてきた避難訓練の過去の内容と今後の計画は イ；通過車両や旅行者への対応と的確な避難指示・誘導は ウ；防災協定の有効性を見直す必要は 4．防災無線管理について ア；維持管理経費の現状と今後 イ；運用方法の見直し 5．災害発生後について ア；災害対策本部を設置する場合の周知方法は イ；発生した事象の原因究明と経過記録をまとめ今後に生かしていく方策について検討しているか

通告順位及び質問者		要旨
2． 江口勝幸	1	災害時における町内の情報周知と住民の避難に関して 今年８月１９日から２０日にかけて、記録的な豪雨が発生し、町内各所に大きな被害が起きた現状は記憶に新しい事と感じています。 また、災害というものは水害だけではなく豪雪や火災においても発生する可能性はゼロとは言い切れません。 そこで災害時における町内の情報周知と避難体制について質問いたします。 １．災害時に町から発せられる情報周知の為に使用されるツールとそのツール別の発信内容は。 ２．町内に設置されている避難所の数と各所の収容人数は。その内、ペットを同行できる避難所の数は。 ３．避難行動要支援者避難支援制度における令和７年度の避難行動要支援者名簿の提出数は。また、災害発生時の個別への連絡方法は。

通告順位及び質問者	要旨	
	2	町内の保育所や学童保育の現状と児童館について 北海道で公表している令和７年４月１日時点の「北海道における保育所等利用状況について」によると、北海道での保育所等における待機児童数は１７９市町村あるうち１１市町村で３４人という内容でした。一見、少なく見えるものの、この件に関しては別に潜在的待機児童が発生していると思われます。 そこで、以下について質問します。 １．町内各所にある保育所や学童保育を利用している人数と学年は。また待機児童の現状について。 ２．町内の保育所等及び学童保育クラブにおいての潜在的待機児童数について把握しているか。 ３．町内においての児童館の必要性についてどう考えているか。

通告順位及び質問者		要旨
3. 上野武彦	1	福祉灯油について 今、北海道の消費者物価指数は令和２年度を基準にした場合１１４．１と上昇しており、食料品は１２８．８、光熱・水道が１２０．２となり、道民の暮らしに深刻な影響を与えている。 灯油の価格も上がっており、現在町内の石油業者の１リッター当たりの単価は消費税込み１２４円台となっており、町の年間５，０００円の助成では約４０リッターしか購入できない。 そこで以下の点について伺いたい。 １．前回令和５年度の質問では、今回は福祉灯油の引き上げは行わないが、申請率が６０％台の現状から８０％台まで引き上げていきたいとの答弁があった。それについてはどうなったのか。 ２．七飯町の福祉灯油については、近隣の市町並みに１万円以上にするべきではないか。